

【中山間地域総合整備事業 高萩地区】

基盤整備を契機とした農地集積と企業参入によるスマート農業の展開 (茨城県高萩市)

体制・人材づくり 栽培作物・方法 加工・出荷 販売

【工夫のポイント】

- 基盤整備を行ったことにより、農地の生産性が向上
- 基盤整備を契機に担い手へ農地を集積・集約化を進めたことで生産効率が向上
- スマート農業を展開する企業が新たに地区へ参入し、担い手として営農

基盤

基盤整備により農地の生産性を向上させ農業経営を安定化

【整備後】

- 区画の拡大や農道整備により、大型機械の利用や効率的な営農が可能
- 用排水路の整備により、維持管理労力や用水不足の解消



整備されたほ場 (標準区画100m x 30m)



整備された排水路

基盤整備
(H19年～)

【整備前】

ほ場は段差が多く小区画で散在しており、用排水施設は未整備



整備前のほ場

【取組地域の概要】

○位置 茨城県 高萩市

高萩地区



茨城県

○受益面積 25ha(区画整理)

○地区傾斜 平均 1/65

○主要作物 水稻(主食用米、飼料用米)

- 主な支援施策
- ・県営中山間地域総合整備事業(H19～)
 - ・多面的機能支払交付金(H24～)

新規に参入した企業等担い手による営農状況

- 基盤整備を契機として耕作条件が改善し、スマート農業を展開する企業が新規に参入
- 新規に参入した企業を含む担い手4名へ、地区全体の約7割の農地を集積(うち約9割を集約化)うち地区全体の約4割の農地(53筆)をスマート農業を展開する企業へ集積(以下図面の赤枠部)

生産現場



地区内農地集積状況(R7. 6時点)

企業の作付農地
9.0ha (53筆)



拡大写真



担い手によるドローン水田直播